

《定例北海道函館方面公安委員会会議等概要》

令和7年7月23日（水）、次のとおり定例会議等を開催した。

1 審議・報告内容

(1) 警察官職務執行法に基づくヒグマの駆除命令の実施

鎌田地域課長から、警察官職務執行法に基づくヒグマの駆除命令の実施について報告を受けた。

中田委員から「適切に判断していただいたと思う。今後、人間と熊の生活圏をクロスさせないように、ペアドッグの活用、ゴミの収集方法の検討等、多角的、かつ工夫を凝らした対策を進めていく必要があると思う。」旨の発言があった。

堀田委員から「草刈りやゴミ問題、廃棄予定作物の放置等、現状でもまだまだ対策すべきことはあり、皆で考えていかなければならないと思う。警戒に当たっていただいた職員の皆様には感謝申し上げます。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「鳥獣保護法改正前の警職法による駆除命令とのことで、適切に判断していただいたと思う。ご対応いただいたハンターの皆様にも感謝申し上げます。」旨の発言があった。

(2) 8月中行事予定

田村理事官から、8月中行事予定について報告を受けた。

(3) 「非常要電源装置による電力喪失時における函館方面本部庁舎の業務継続計画」の策定

田村理事官から、「非常要電源装置による電力喪失時における函館方面本部庁舎の業務継続計画」の策定について報告を受けた。

中田委員から「代替電源では、平時を100%とした場合、何%程度の電力を何日間カバーできるのかも重要だと思う。引き続き、電力維持の優先順位が高い機器に必要な電力が確実に供給されるよう努めていただきたい。」旨の発言があった。

堀田委員から「予算の問題もクリアしているとのことで、ピンポイント的なBCPであるが、非常時の備えとして大変有効なものだと思う。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「胆振東部地震の際は、実際にブラックアウトが発生しており、こうしたものへの備えがいかに大切であるか、身をもって体験したところである。重要な取組だと思う。」旨の発言があった。

(4) 6月中の苦情受理・措置状況

能戸監察官室長から、6月中の苦情受理・措置状況について報告を受けた。

(5) 監督上の措置事案概要（令和7年4月～6月末）

能戸監察官室長から、監督上の措置事案概要（令和7年4月～6月末）について報告を受けた。

(6) 銃砲刀剣類一斉検査の実施結果

徳田生活安全課長から、銃砲刀剣類一斉検査の実施結果について報告を受けた。

(7) 教育機関と協働した特殊詐欺等被害防止対策の実施結果

徳田生活安全課長から、教育機関と協働した特殊詐欺等被害防止対策の実施結果について報告を受けた。

中田委員から「大変素晴らしい取組である。小・中学生には親や祖父母が詐欺の被害に遭わないための注意喚起をお願いし、高校生・大学生には自分自身が闇バイトに加担しないための教育を推進していただきたい。」旨の発言があった。

堀田委員から「様々な取組を推進していただいていることに感心したが、それでも函館市では連日のように被害が発生している。お金を払う前に気付いていただけるよう工夫を凝らした対策をお願いしたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「SNS型では、投資に興味のある方が自分から騙されにいつてしまう傾向があると思う。また、騙されたことが恥ずかしいと感じ、届出していない方も沢山いるのではないかな。どのように騙されるのか、具体的な例を挙げてわかりやすく広報していくことが大切だと思う。」旨の発言があった。

- (8) 交通死亡事故の発生状況
松本交通課次席から、交通死亡事故の発生状況について報告を受けた。

中田委員から「自転車利用者に対する注意喚起を続けていただきたい。」旨の発言があった。

- (9) 第26回函館新聞社函館港花火大会に伴う雑踏警備結果
宮本警備課長から、第26回函館新聞社函館港花火大会に伴う雑踏警備結果について報告を受けた。

中田委員から「多角的な警備を実施していただき、大変頼もしく感じた。制服警察官の配置による「見せる警戒」も重要だと思うので、継続していただきたい。」旨の発言があった。

堀田委員から「市民の楽しみの陰で、こうした苦労をされていることについて、あらためて感謝申し上げたい。今後も、大変な任務が続くこととなるが、頑張ってください。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「8月の港まつりには、函館出身のロックスターの参加が予定されている。昨年は、非公表であったが、今年は公表されているため、多くの観衆が集まることが予想されるので、混乱が生じないように対応をお願いしたい。」旨の発言があった。

- 2 退任の挨拶
本年8月12日付で函館方面公安委員を退任される堀田委員から、退任に伴うご挨拶をいただいた。

以 上